

北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第739号 平成26年5月22日

絵本専門士

先日、この塾頭通信で、大学生が本を読まなくなっている事を取り上げましたが、本を読まなくなったというのは大学生だけに限りません。

実際、本の販売額は年々減少しており、街の本屋さんも次々と姿を消してしまいました。寂しく感じていますが、これも時の流れで仕方ないと思っています。

本が売れなくなっている原因は書籍の購読人口が減少している事にありますが、購読人口減少の背景には、少子高齢化で人口そのものが減少し始めた事、書籍の値段も高くなっており手が出し難くなっている事が上げられます。

もう一つ購読人口が減少している要因としては、「活字離れ」が大きいのではないのでしょうか。

昨年の学力調査の際、将来の読書人口を支えるはずの北海道の子ども達に「1か月に何冊本を読むか」聞いたところ、1か月の内読書数が2冊以下の子ども達が、小学生、中学生共に半数以上に及んでいます。特に、本を1冊も読まない子が、小学生では15.9%、中学生では23.3%となっており、これは、学校における朝読書活動が広がっている割には少なくない数字だと思います。

その一方で、1か月で11冊以上もの本を読んでいる子が、小学生では33.8%、中学生では4.9%となっています。

この結果を見ると、小学生は、冊数はともかく、本に親しんでいる子ども達が少ない事に少しホッとしています。ただ、中学生の方は小学生の時と比べると忙しい事は分かりますが、その事を割り引いても読書量が大幅に減っている事は気がかりです。

ところで、大人の「活字離れ」がしばしば問題になりますが、子ども達の方はどう

読書は好きか

	小学生	中学生
好き	48.6	51.6
どちらかといえば好き	23.0	22.9
どちらかといえば嫌い	15.9	14.5
嫌い	12.5	10.7

平成25年度学力調査(児童生徒への質問紙調査)結果に基づき作成

うなののでしょうか。子ども達は、テレビやゲームに夢中で、本には関心がなさそうですが、でも、子ども達の気持ちを探ってみると、意外な姿が見えて来ます。

左図は、北海道の子ども達に読書が好きかどうか聞いた結果です。

その結果は、小学生、中学生共に7割の子ども達は読書が好きと答えています。

1か月にどの位本を読むか

	0冊	1~2冊	3~4冊	5~10冊	11冊以上
小学生	15.9	38.6	21.8	29.9	33.8
中学生	23.3	48.3	16.2	6.9	4.9

平成25年度学力調査(児童生徒への質問紙調査)に基づき作成

だとすれば、子ども達に出来るだけ早い段階から、読書の楽しさ、本の選び方、本との付き合い方等を上手にリードして行けば、もっともっと読書に親しむ子ども達

が増えて行くのではないかと、期待を込めて考えています。

さて、前置きっぽい話が長くなりましたが、先日、子ども達と本とをつなぐための専門家が来春誕生する事になりそうだとニュース(4月3日付読売新聞から)が目にとまりました。

この専門家は「絵本専門士」といいますが、童話作家の肥田美代子氏が委員長を務める「絵本専門士養成制度準備委員会」が今年の2月にまとめた報告書を受けて創設される事になったものです。

それでは、この「絵本専門士」とは如何なるものなのか、報告書からその概要を見て置きたいと思います。

まず、「絵本専門士」の位置付けですが、勿論国家資格ではなく、いってみれば、漢字検定と同じようなものと考えて良いでしょう。

また、「絵本専門士」は、「絵本のメディアとしての特性やさまざまな可能性をよく理解し、幅広い知識と教養を備え、絵本の魅力を表現し伝える技能を持ち、子どもの好奇心と生きる力を引き出す絵本の専門家であり、達人」と位置付けています。つまり、「絵本専門士」になるには絵本が大好きというだけでは不十分で、

- ・絵本に関する総合プロデュース力
- ・絵本を普及するための事業を企画・実施する力

等が求められるとしています。

このため、絵本の専門家である「絵本専門士」を養成するための講座が「絵本専門士養成制度準備委員会」主催のもと、本年7月からスタートする事になりました。なお、本講座の事務局は、国立青少年教育振興機構が担っています。

また、講座の受講対象者は、司書や保育士、教師等の有資格者の他、図書館や学校等で実務経験がある人、読み聞かせの活動経験がある人等を想定しています。

絵本は、子ども達が本というものに接する最初の機会ですから、絵本との出会いやその後の関わりはその子の読書人生に大きな影響を与える事になります。それだけに、専門的な立場から子ども達の読書環境の向上に取り組むことは意義深い事だと思います。

ただ、残念な事に、「絵本専門士」の養成講座は、定員が30名と少ない上に、会場も東京都内という事ですから、北海道の方にとっては、関心はあっても参加する事は現実的には難しいと思います。

道内に限りませんが、各地では、子ども達に絵本の読み聞かせ等の活動されてい

る方が沢山おられますので、資格の取得はともかく、子ども達と本とをつなぐ、つなぎ手としての専門家の養成や資質の向上に向け、「絵本専門士」の養成講座が全国に展開される事を期待したいと思います。（塾頭：吉田 洋一）